

Happycom

30mL

ポビヨット

第3類医薬品

のどの炎症による
のどのあれ

1日数回適量を患部に噴射塗布



使用方法



① 容器のフタをはずしていただく。



- ② 「アー」と声を出しながら頭部を押して、患部に薬液を2〜3回噴射していただく。
- 最初は涙が出るまで4〜5回押してください。
 - 薬液がノズルの先端にたまった時は、液だれを防ぐため清潔なティッシュペーパー等で拭き取ってください。
 - 温度の低い場所で保管された場合、薬液が白くなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。



③ 使用後は、フタをもとの位置にはめてください。



ノズルの先端を指等で触ると薬液がでにくくなったり、折れた時大変危険です。絶対におやめください。



MADE IN JAPAN



2019年11月改訂第12版

Happycom

のどスプレー

のどの炎症による

のどのあれ

痛み 声がれ

ポビヨット



のどスプレー
ポビヨット
第3類医薬品 30mL

ポビドンヨード

有効成分

内容量 30mL 第3類医薬品

製造番号
使用期限



4 935583 204544

口噴咽喉薬 Throat Spray

第3類医薬品

ポビヨット

のどの炎症による
効能・効果 のどの痛み・のどのあれ・のどの不快感・声がれ

成分・分量 (100mL中)
ポビドンヨード 0.45g

添加物としてヨウ化カリウム、β-メントール、還元麦芽糖水アメル、グリセリン、プロピレングリコール、エタノール、サッカリンナトリウム水和物、香料を含有する。(成分・分量に関連する注意)
本剤の使用により、顔に含まれる歯科材料(歯冠等)が変色することがあります。

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい所に保管してください。(2) 小児の手の届かぬ所に保管してください。(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になり品質が変わる場合があります。)(4) 薬液が衣服等に付着すると着色します。付着した場合はすぐに水でよく洗い落とすしてください。(5) ノズルの先端の穴を針等で突かないでください。使用時に薬液が出てくなくなることがあります。(6) 使用期限を過ぎた製品は、使用しないでください。(7) 温度の低い場所で保管された場合、薬液が白くなる場合があります。その場合は手のひらなどで温めてから使用してください。

発売元:白金製薬株式会社

7634-0803 奈良原橋筋南上店0515

お客様相談室 TEL:0744-21-5588

受付時間:00~17:00(土、日、祝日を除く)

製造販売元:ダイワ製薬株式会社

7634-0803 奈良原橋筋南上店0515

副作用情報番号 Q1201-149-831

紙箱 外装フィルム:PP

開封口

第3類
医薬品

販売名:ポビヨット

ご使用に際しては、この説明書を必ずお読みください。また、必要時に洗眼のように大切に保管してください。

△ 使用上の注意

☑ してはいけないこと

(守らないと重大な危険が懸念したり、副作用が起りやすくなります。)(1) 1次人は使用しないでください。本剤又は本剤の成分によりアレルギー反応を起こしていることがある人。(2) 長期間使用しないでください。

■ 相違すること

1. 次人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。(1) 医師又は歯科医師の診断を受けている人。(2) 薬液によりアレルギー症状を起している人。(3) 2次以上の診断を受けた人。アレルギー検査中。(4) 次回の症状のある人。口内のひびきなど。(5) 症状が持続していると思われる人。(6) 授乳中の人。(7) 使用後、次の症状があらわれた場合は、副作用の可能性があるためすぐに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
口	あれ、しみる、灼熱感、刺激感
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気
そ の 他	不快感

まれに下記の重大な症状が起ることがあります。その場合は直ちに医師の診断を受けてください。

症状の名称	症 状
シヤク(アナフィラキシー)	使用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、喉のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。

3.5〜6日間使用しても症状がよくなるない場合は、使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

用法・用量

1日数回適量をのどの粘膜面に噴射塗布してください。

- (用法・用量に関連する注意)(1) 定められた用法・用量を守ってください。(2) 患部を患いながら使用する。薬液が喉管や中咽に入ることがありますので、スプレーを患部に直接、鼻(鼻は必ずながら)より噴射してください。(3) 身体部分の他の患部に噴射塗布してはならない。患部や口への使用、内服はしないでください。(4) 長期に使用される場合は、保護者の医師の指導のもとに使用してください。(5) 目に入らないよう注意してください。万一、目に入った場合は、すぐに大量の水で洗い流してください。症状が重い場合は、直ちに医師の診断を受けてください。